

【メルマガ特典⑤】

成果の出る SNSの活用方法

目代康二

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第 1 条 本契約の目的: 乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条 禁止事項: 本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第 3 条 損害賠償: 甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第 4 条 契約の解除: 甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第 5 条 責任の範囲: 本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

【はじめに】

この度は、目代康二の公式メールマガジンにご登録いただきましてありがとうございました。

この特典教材では、SNSを使ってどのように情報を発信していけばいいのか、その方法を簡潔に説明します。

今の時代、SNSの運営はインターネットマーケティングをする上で非常に大切です。

その一方で、どのようにSNSで発信したらいいか分からない人はかなり多いと思います。

そこでこの教材では、SNSの活用方法を簡潔にまとめていますので、ぜひ参考にしてみてください。

SNSの基本を再確認

今更？という感じもあると思いますが、まずはSNSの基本を再確認しましょう。

SNSは「Social Networking Service」の略です。

要するに、各人が自由に情報を発信するプラットフォームですね。

多くの人が日常的にSNSを利用しているため、SNSの効果は絶大です。

特に最近の若い世代はテレビや新聞などのニュースよりもSNS上のニュースを重視する傾向があるようですので、そのパワーは計り知れません。

うまく活用すれば、無料で圧倒的な集客ができるようになります。

ただその一方で「炎上」のリスクもあるため、SNSの使い方には注意が必要です。

SNSの種類

ここからは、代表的なSNSの種類を見ていきましょう。

Facebook

Facebookは、実名登録が基本のSNSです。

ざっくりとした傾向として、20～40代のビジネスマンや意識高い系の人たちが多く利用している傾向があります。

FacebookはFacebook広告という非常に効率的な広告を使うことができますので、ぜひ活用したいことです。

プロフィール情報やFacebookページなどの情報はできるだけ詳細に書いておきましょう。

さて、Facebookの話をするときによく言われるのが、友達を積極的に増やした方がいいのかということです。

結論からいうと、そうやって増やした友達はそもそもあなたの投稿にあまり反応してくれないので、増やすだけ無駄かなと思います。

一方で、リアルの世界で繋がっている人がいたら、Facebookで友達になっておきましょう。

あなたが投稿を続けていけば自然と友達申請は増えていきますので、コツコツ王道を進むのがいいと思います。

とにかく継続のみです！

Twitter

Twitterも、SNSを運営する上では欠かすことができません。

Twitterは拡散性が非常に高いので、うまく活用すればものすごい効果があります。

しかし、炎上リスクも高いので、注意が必要です。

僕の周りの発信者の情報を分析すると、自己啓発系のツイートが伸びる傾向にあるようです。

単にあなたの商品・サービスの情報を発信してもいいですが、自己啓発系のツイートも織り交ぜると効果的でしょう。

Twitterにはフォロー機能がありますが、最低限100人ぐらいは自分のビジネスに関係のありそうなユーザーをフォローしておけばいいでしょう。

あとはFacebookと同様、あなたの発信を見てフォロワーがどんどん増えていくと思います。

Instagram

Instagramは写真メインのSNSですが、その特性上、どうしてもきれい系の画像が好まれる傾向にあります。

例えば飲食店でしたらお料理の写真だったり、お菓子屋さんでしたらお菓子の写真、そういったものが好まれる傾向にあるようです。

ですので、ビジネスによって相性はかなりあると思います。

こちらもとにかく継続的に投稿して、反応の良いジャンルの写真を投稿していくといいでしょう。

SNSの活用のポイント

SNSで発信する上では、いくつかのポイントがあります。

基本情報はできるだけたくさん書く

SNSを運用する上での基本、それはプロフィールをはじめとした基本情報をとにかくたくさん書くことです。

文字数制限いっぱいまで書くのがいいでしょう。

というのも、ユーザーにあなたのファンになってもらうためには、とにかくたくさんあなたの情報を伝えた方が判断材料が多くていいからです。

また、自己紹介を書く時には、大衆受けする一般的な内容にするのではなく、ある程度尖った内容にすることをおすすめします。

尖った内容にすることで、あなたに本当に興味があるユーザーだけを集められるようになります。

反対に一般受けを狙いすぎると、数は多いですが質の悪いユーザーが集まるため気をつけた方がいいですね。

あとは、ホームページのURLも設定できるので忘れずに！

SNSは続けることが何よりも大切

正直言うと、SNSを更新するのは最初はめんどくさく感じると思います。

その気持ち、ものすごく分かります。

多くの人が、最初の数日は頑張ってSNSを投稿しますが、数日するとやめてしまうのが普通です。

ですので、SNS運営の一番のポイントはとにかく継続すること。これに尽きます。

配信を続けさえすれば、それだけで周りにはいるその他大多数のライバルに打ち勝つことができます。

まずは1日1配信。

これをとにかく継続しましょう！

とにかくなんでもいいから発信する

SNS運営で大切なこと、それは例えばネタが切れても、それでも発信することです。

「発信する内容がない」

その気持ち、よ〜く分かります。

僕もそうでしたから。笑

でも、それでも続けれるんです。

何でもいいから発信しましょう。

今日はどんな1日でどんな気づきがあったか、それだけでもいいんです。

とにかく何でもいいので、とにかく続けてください。

不思議な話ですが、毎日発信を続けていると、自然とあなたの発想が切り替わって、日常生活の中から発信するネタを探すように思考が切り変わります。

例えば普通の人だったら見逃してしまうような些細な出来事でも、「おっ、これはネタに使えるぞ!」と考えられるようになるのです。

コツコツ発信を続けていけば、自然と発信することが普通になって、またネタ探しにも困らなくなります。

実を言うと、僕も発信するネタにはわりかし困らない方です。

ちなみにですが、「TwitterやFacebookによって発信する内容を変えた方がいいの?」と疑問に思う方もいると思いますが、最初は全部同じ内容でいいのかなと思います。

余裕が出てきたら、SNSそれぞれで発信内容を変えてもいいでしょう。

とにかく大切なのは、「継続」すること。

このことを肝に命じておきましょう。

ターゲットを意識

これはSNSだけではなく発信全般に言えることですが、誰に何を発信するのか、首尾一貫した発信を心掛けましょう。

逆説的に聞こえるかもしれませんが、あなたがだれか1人ターゲットを決めて発信することで、その他大勢に刺さる発信が可能となります。

、、とは言っても、なかなか分からないですよ。笑

簡単にいうと、この世の中には「平均的な思考の人」というものは存在しなくて、「偏った思考の人」しか存在しません。

つまり、人それぞれ「個性」があるということです。

そのため、誰にでも受け入れられるような「平均的な発信」をしても、そもそも世の中に「平均的な人」は存在しないため誰にも刺さらず、反対に尖った発信をすることで、「えっ、それって私のこと？」と発信が刺さる人が出てくるのです。

例えば大きなターミナル駅で「男性の方～？」と大声を出しても、誰も振り向かないと思います。

「20代の男性の方～？」と少しユーザーを絞ると、もしかしたら振り向いてくれる人が出るかもしれません。

そして、「高橋さん～？」と言ったら、多分その場にいる高橋さんはほぼ振り向いてくれるのではないのでしょうか？

考え方としてはこれと同じです。

「男性」のようにあまりにターゲットが広すぎると誰にも刺さりませんが、「高橋さん」ぐらいにユーザーを絞ると反応率がグンと上がるのです。

なお、あまりにターゲットを絞りすぎてしまうと、今度は母数が少なくなってしまうのでバランスが大切です。

いずれにしろ、不特定多数に向けた発信はフワフワしていて誰にも刺さらないことは肝に命じておきましょう。

うまい人の真似をする

スポーツでもビジネスでも「真似」をすることは非常に大切です。

それはSNSでも同様で、いいねやリツイートが多い発信者の内容を参考に発信内容を変えていくことは非常に大切です。

「どのような発信のいいねやリツイートが伸びる傾向にあるのか？」自分と近いジャンルの人の発信内容をチェックして、いいところをどんどん取り入れていきましょう。

、、分かっていると思いますが、「パクリ」はダメですよ！

便利な機能を使う

例えばホームページに投稿を行うと、自動的にFacebookやTwitterにそのことが投稿される機能があります。

これはワードプレスに専用の「プラグイン」を導入することで設定することができます。

また、他にもフェイスブックの投稿をそのままブログに連動させるツールもあります。

最近は色々なツールが登場していますので、手間を減らす意味で、導入を検討してもいいと思います。

最後に

今回は、SNSで発信するポイントについて簡潔に解説してきました。

この教材を読んだあなたが、SNSで情報を発信するべく一歩踏み出してくれたら、非常に嬉しいです。

目代康二